

解説 1

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- 名詞（句・節）は文の要素で、主語・目的語・補語になる。
- 副詞（句・節）は文の要素にあらず、場所・時・理由・手段・程度などを表す。
- Many people visit ^(O)the countryside. 「多くの人々がその地方を訪れる。」 - ① （第3文型：SVO）
- Many people go ^(M)to the countryside. 「多くの人々がその地方に行く。」 - ② （第1文型：SV）
- cf. □ Many people ^(V)go to ^(O)the countryside. - ③ （*解釈上の第3文型）
- ①と②の文は、内容はほぼ同じだが、文の構造は異なる。
- ①のvisitは、ここでは目的語を要する他動詞で、the countrysideが目的語。
- ②のgoは、ここでは目的語をとれない自動詞で、to the countrysideは場所を表す副詞句。
- ①の文を、目的語（O）を先行詞とする名詞節に変換（関係代名詞）
- □ the countryside (*that/which*) many people visit 「多くの人々が訪れるその地方」
- ※ the countrysideはvisitの目的語で、関係代名詞that/whichの先行詞（目的格なので省略可）。
- ②の文を、副詞句（M：modifier「修飾語句」）中の名詞を先行詞とする名詞節に変換（関係副詞）
- □ the countryside *where* many people go 「多くの人々が行くその地方」
- ※ the countrysideは副詞句の一部で、関係副詞whereの先行詞。前置詞toはwhereに含まれる。
- go toの句を、目的語を要する1つの他動詞と解釈すれば、the countrysideはその目的語となる(③)。
- ③(②と同じ)の文を、目的語（O）を先行詞とする名詞節に変換（関係代名詞）
- □ the countryside (*that/which*) many people go to 「多くの人々が行くその地方」
- ※ the countrysideはgo toの目的語で、関係代名詞that/whichの先行詞（目的格なので省略可）。
- 関係代名詞と関係副詞の違いは、先行詞が、それが導く節における文の要素かどうかで判断できる。
- 先行詞が主語や目的語（前置詞の目的語を含む）の場合は関係代名詞を使う。
- 先行詞が副詞句（文の要素ではない）の一部で、前置詞の目的語でもない場合は関係副詞を使う。
- 【重要】先行詞は必ず名詞。続く関係詞節と合わせて、名詞のまとまり（名詞節）を作る。

A 演習 1：基本問題 正しい方を選び、さらに全体を訳しなさい。

- 例 the hospital (which / where) I was born
「私が生まれた病院」
1. the apartment (which / where) many manga writers lived
「 」
2. the mountain (which / where) thousands of people climb
「 」
3. a place (which / where) ordinary people can sell their things
「 」

演習 1：解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. where 「多くの漫画家が住んでいたアパート」 ※先行詞 the apartment は lived の目的語ではないので、場所を表す関係副詞の where が正解。lived in で終わってれば、先行詞は in の目的語となるので which が正解。
2. which 「数千人が登る山」 ※先行詞 the mountain は他動詞 climb の目的語 (climb the mountain となる)。
3. where 「ふつうの人々が自分たちのものを売れる場所」 ※sellは他動詞だが、すでに目的語 their things があるし、a place は sell の目的語にならない。よって、正解は関係副詞の where。もとの文は、Ordinary people can sell their things *in* a place. のように、前置詞が必要である。

B 演習 2：基本問題 正しい方を選び、さらに全体を訳しなさい。

1. the day on (which / when) the festival will take place

「

」

2. the reason (which / why) you were late

「

」

3. the way in (which / how) my father cooks curry

「

」

4. Did you forget the day (which / that) we got married?

「

」

5. Tell me the reason (which / why) you are so angry.

「

」

6. I like the way (that / how) you talk about your family.

「

」

演習 2：解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. which 「お祭りが開催される予定の日」 ※ The festival will take place **on** the day. 「お祭りはその日に開催されるだろう。」が文。前置詞 on があるので、その目的語となる目的格の関係代名詞 which が正解。on がなければ when が正解。なお、the day (that) the festival will take place でもよい。この that は when を代用する関係副詞で、省略可。
2. why 「あなたが遅刻した理由」 ※ You were late **for** the reason. 「あなたはその理由で遅刻した。」が文。先行詞 the reason は for の目的語になるが、for がないので関係副詞 why を用いる。ただし、why の代わりに for which を使うのは、文法的には問題ないが、実際にはほとんど使わない。なお、why の代わりに that (関係副詞) を使ってもよい。省略して the reason you were late としてもよいし、この the reason を why にしてもよい。
3. which 「私の父のカレーの作り方」 ※ My father cooks curry in the way. 「私の父はその方法でカレーを料理する。」が文。先行詞 the way は前置詞 in の目的語なので関係代名詞 which が正解。なお、in which の代わりに that (関係副詞) を使うこともでき、the way my father cooks curry のように省略してしまってもよい。ただし、* the way how とするのは不可。

4. that 「私たちが結婚した日を忘れたのですか。」 ※ 動詞 forget の目的語でもある先行詞 the day は、we got married の文の要素ではないので、関係副詞を使う。when の代用となる that が正解。目的語 (節) を文になおすと We got married **on** the day. 「私たちはその日に結婚した。」となるので、関係代名詞を用いるときは on which としなくてはならない。なお、省略して the day we got married としてもよい。
5. why 「あなたはなぜそんなに怒っているのか、その理由を私に言いなさい。」 ※ 動詞 tell の目的語でもある先行詞 the reason は、you are so angry の文の要素ではないので関係副詞 why が正解。why の代わりに that (関係副詞) を使ってもよいし、省略して the reason you are so angry としてもよい。なお、Tell me why you are so angry. としてもよい。why の代わりに for which を用いるのは、文法的には問題ないが、実際には使わない。
6. that 「あなたが自分の家族について話す様子を私は気に入っている。」 ※ 動詞 like の目的語でもある先行詞 the way は you talk about your family の文の要素ではないので関係副詞を使う。the way how という表現は不可なので関係副詞 that が正解。that の代わりに in which としてもよいし、the way you talk ～と省略してもよい。なお、I like how you talk ～. の表現も可。

年 組 番 氏名

実施日 年 月 日

A /3

B /6

検印